

発展途上国で貧困に苦しむ子供たちに今必要なものは

3年2組 34班

1. 研究要旨

私たちは発展途上国の子供たちの現状はどのようなものなのか興味を持った。私たちははじめ、貧困の一番の要因は医療・福祉の設備が不十分であることだと思っていたが、調べていくうちに、何か他に大きな原因があるのではないかと気付き始め、テレビで見た世界の識字率の分布表と貧困率の分布表が似ているということから貧困の根本にあるものは教育なのではないかと想定した。そして教育に視点を絞り、そこから様々な因果関係と結び付けていくことで、貧困の原因を探ることができた。そこから導きだした結論から、今後、私たちに何ができるのかを考えた。

2. キーワード

貧困の連鎖、教育、希望

3. 研究動機

テレビで貧困の特集などを見て「なぜ貧困はなくなるのか」疑問に思ったから

4. 研究手法

- (1) 発展途上国の貧困に関する本を読み、貧困の現状や原因を探る。
- (2) インターネットで貧困の連鎖の原因を探る。
- (3) 実際にアフリカのブルキナファソで支援活動を行っていた方に、現地の様子や、またそれを見て感じた事などをインタビューする。

5. 結果・考察

<教育を受けられない理由>

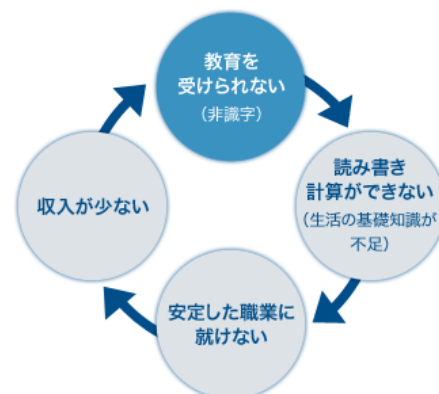
貧しさ、紛争や戦争、女の子に教育は必要ないという考え方、物理的に学校が近くにない、小学校に通っていても家計を助けるために中途退学をせざるを得ず、そのまま大人になってしまったなど理由は様々である。

<読み書き計算ができない理由>

小学校に通うことができない、または中途退学してしまい、基本的な読み書き計算ができない子供やそのまま大人になってしまった人が数多くいる。

<安定した収入が得られる職業に就けない理由>

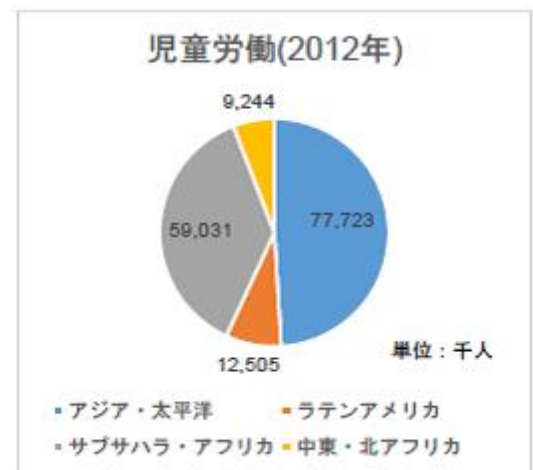
基本的な読み書き計算ができないと、様々な職業に必要な技術を身に着けることが大変困難だ。簡単な足し算や引き算ができない、注意事項やマニュアルが読めなくてもできる仕事があったとしても、日雇いなど労働条件が厳しくなる。季節や天候、雇用者側の都合に、左右され、毎日、安定した収入が得られるとは限らない。



<収入が少ない理由>

基礎教育や訓練を受けていない人たちは、安定した収入を得る仕事に就くことが困難で、過酷な労働条件でも低賃金で働かざるを得ない状況がある。また、読み書きや計算ができないと、労働者として権利がわからず、賃金や労働条件を騙され、搾取されてしまうこともある。

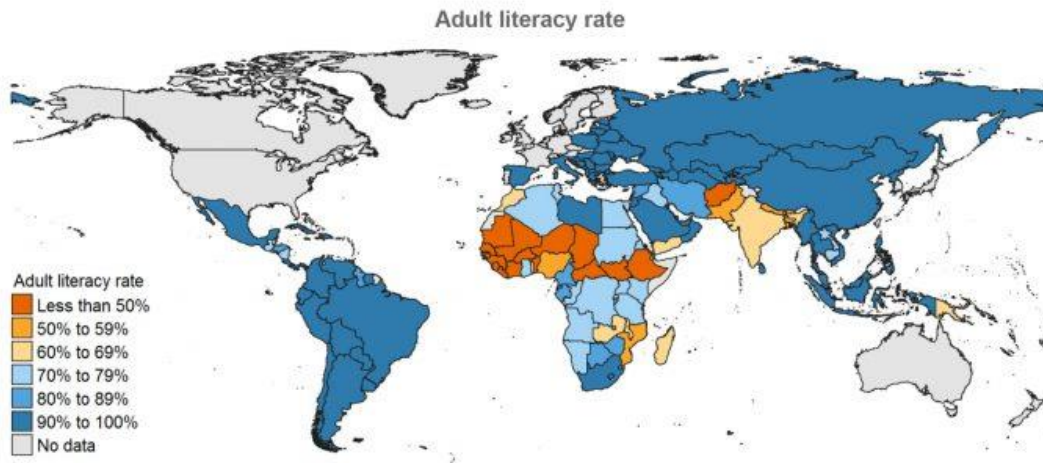
これらからわかることは、貧困には「負のスパイラル」があるということである。まず私たちは、貧困の原因を「仕事の収入が少ないこと」だと考えるが、それは「安定した職業に就けない」ことに原因があり、さらにその原因には「読み書きができない」という原因がある。そして、その一番の元となる原因は、「教育を受けられない」ことである。教育を受けられないことから、貧困はスタートしているのだ。つまり、貧困地域の教育環境を改善し、識字率や計算力を上げていけば貧困を断ち切れるのではないかという考えが浮かんできた。



<http://www.osaka-doukiren.jp/topics/topics01/8435>

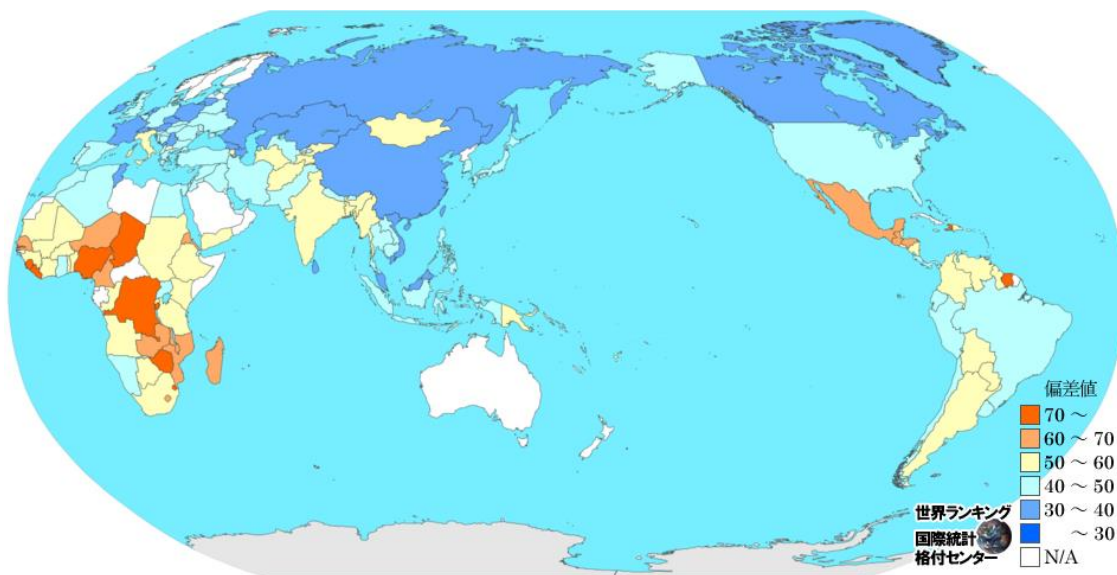
<http://www.careintjp.org/study/04.html>

図 1. 成人の識字率



<http://www.uis.unesco.org/literacy/Documents/fs32-2015-literacy.pdf>

図 2. 貧困層の人口割合（貧困率）



<http://top10.sakura.ne.jp/CIA-RANK2046R.html>

図 1、図 2 からわかることは、貧困地域ほど識字率が低いということである。特にアフリカは成人の識字率が 50%以下の地域が多く見受けられる。この資料からも、識字率（＝教育）が貧困の原因であるということが推察できる。

文字の読み書きができることによって、貧困解決に効果があることが推察される

- 母親が読み書きできると、5歳未満の乳幼児死亡率が低い。
- 女性の識字率が高いと、女児の就学率も高い。
- 成人識字率が高いと、小学校5年次まで在学する児童の割合も高い。
- 識字率の高い国は、平均寿命が長く、一人あたりの収入や農業生産性が高い

<インタビュー結果>

「青年海外協力隊」の理数科教師として二年間、ガーナ、ブルキナファソ、マリで働いていた貴田先生に現地の貧困状況についてインタビューを行った。

Q「アフリカの経済状況について」

A「施設の整備が不十分なところが多い」「地域の財政基盤が緩い」「上下水道が整備されていないところも多い」「医者が足りない」「農村と都市の差がとても大きい」「学校においては校舎の外見から違いが目立つ」

6. 結果・まとめ

本やインターネットで貧困の根源について調べることにより、次のように考えた。

- ・貧困には負のスパイラルがある。
- ・貧困の根源は「教育を受けられないこと」にある。

7. 私たちにできること

- ・貧困地域についての正しい情報を知るとともに、例えば SNS で正しい貧困化の現状を発信するなど少しでも多くの人に貧困化の状況を知ってもらおう努力をする。
- ・青年海外協力隊や海外のボランティアに積極的に参加する。
- ・現地に教育者を派遣する。
- ・無駄なものを買わない、食事を残さないなど身近でできる無駄削減運動を一人一人がする。

8. まとめ

貧困から抜け出せない根本は教育であることがわかり、さらに調べていくうちに現地での状況は想像以上に深刻なものだと感じた。このことを知ったうえで、今ある生活に感謝することを忘れずに、私たちにできることから始めていきたい。

9. 参考文献

<http://unesco.or.jp/terakoya/issue/>

大川勇「カンボジア 子どもたちとつくる未来」毎日新聞 2010 年



<https://coincheck.com/ja/donations>